

詩篇 119:101 わたしはみ言葉を守るために、わが足をとどめて、すべての悪い道に行かせません。

119:102 あなたがわたしを教えられたので、わたしはあなたのおきてを離れません。

119:103 あなたのみ言葉はいかにわがあごに／甘いことでしょう。蜜にまさってわが口に甘いのです。

119:104 わたしはあなたのさとしによって知恵を得ました。それゆえ、わたしは偽りのすべての道を憎みます。／ヌン

119:105 あなたのみ言葉はわが足のともしび、わが道の光です。

119:106 わたしはあなたの正しいおきてを守ることを誓い、かつこれを実行しました。

119:107 わたしはいたく苦しみました。主よ、み言葉に従って、わたしを生かしてください。

119:108 主よ、わがさんびの供え物をうけて、あなたのおきてを教えてください。

119:109 わたしのいのちは常に危険にさらされています。しかし、わたしはあなたのおきてを忘れません。

119:110 悪しき者はわたしのためにわなを設けました。しかし、わたしはあなたのさとしから迷い出ません。

119:111 あなたのあかしはとこしえにわが嗣業です。まことに、そのあかしはわが心の喜びです。

119:112 わたしはあなたの定めを限りまで、とこしえに守ろうと心を傾けます。／サメク

詩篇 19:1 もろもろの天は神の栄光をあらわし、大空はみ手のわざをしめす。

19:2 この日は言葉をかの日につたえ、この夜は知識をかの夜につげる。

19:3 話すことなく、語ることなく、その声も聞えないのに、

19:4 その響きは全地にあまねく、その言葉は世界のはてにまで及ぶ。神は日のために幕屋を天に設けられた。

19:5 日は花婿がその祝のへやから出てくるように、また勇士が競い走るように、その道を喜び走る。

19:6 それは天のはてからのぼって、天のはてにまで、めぐって行く。その暖まりをこうむらないものはない。

19:7 主のおきては完全であって、魂を生きかえらせ、主のあかしは確かであって、無学な者を賢くする。

19:8 主のさとしは正しくて、心を喜ばせ、主の戒めはまじりなくて、眼を明らかにする。

19:9 主を恐れる道は清らかで、とこしえに絶えることがなく、主のさばきは真実であって、ことごとく正しい。

19:10 これらは金よりも、多くの純金よりも慕わしく、また蜜よりも、蜂の巣のしたたりよりも甘い。

イザヤ 55:9 天が地よりも高いように、わが道は、あなたがたの道よりも高く、わが思いは、あなたがたの思いよりも高い。

55:10 天から雨が降り、雪が落ちてまた帰らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種まく者に種を与え、食べる者にかてを与える。

55:11 このように、わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない。わたしの喜ぶところのことをなし、わたしが命じ送った事を果す。

イザヤ 40:1 あなたがたの神は言われる、「慰めよ、わが民を慰めよ、

40:2 ねんごろにエルサレムに語り、これに呼ばわれ、その服役の期は終り、そのとがはすでにゆるされ、そのもろもろの罪のために二倍の刑罰を／主の手から受けた」。

40:3 呼ばわる者の声とする、「荒野に主の道を備え、さばくに、われわれの神のために、大路をまっすぐにせよ。

40:4 もろもろの谷は高くせられ、もろもろの山と丘とは低くせられ、高低のある地は平らになり、険しい所は平地となる。

40:5 こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る。これは主の口が語られたのである」。

40:6 声が聞える、「呼ばわれ」。わたしは言った、「なんと呼ばわりましょうか」。「人はみな草だ。その麗しさは、すべて野の花のようだ。

40:7 主の息がその上に吹けば、草は枯れ、花はしぼむ。たしかに人は草だ。

40:8 草は枯れ、花はしぼむ。しかし、われわれの神の言葉は／とこしえに変わることはない」。

マタイ 24:3 またオリブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとにきて言った、「どうぞお話してください。いつ、そんなことが起るのでしょうか。あなたがまたおいでになる時や、世の終りには、どんな前兆がありますか」。

24:4 そこでイエスは答えて言われた、「人に惑わされないように気をつけなさい。

24:5 多くの者がわたしの名を名のって現れ、自分がキリストだと言って、多くの人を惑わすであろう。

24:6 また、戦争と戦争のうわさを聞くであろう。注意していなさい、あわててはいけない。それは起らねばならないが、まだ終りではない。

24:7 民は民に、国は国に敵対して立ち上がるであろう。またあちこちに、ききんが起り、また地震があるであろう。

24:8 しかし、すべてこれらは産みの苦しみの初めである。

24:9 そのとき人々は、あなたがたを苦しみにあわせ、また殺すであろう。またあなたがたは、わたしの名のゆえにすべての民に憎まれるであろう。

24:10 そのとき、多くの人がつまずき、また互に裏切り、憎み合うであろう。

24:11 また多くのにせ預言者が起って、多くの人を惑わすであろう。

24:12 また不法がはびこるので、多くの人々の愛が冷えるであろう。

24:13 しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われる。

24:14 そしてこの御国の福音は、すべての民に対してあかしをするために、全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。

1 テモテ 2:4 神は、すべての人が救われて、真理を悟るに至ることを望んでおられる。

2:5 神は唯一であり、神と人との間の仲保者もただひとりであって、それは人なるキリスト・イエスである。

2:6 彼は、すべての人のあがないとしてご自身をささげられたが、それは、定められた時になされたあかしにほかならない。

2:7 そのために、わたしは立てられて宣教者、使徒となり（わたしは真実を言っている、偽ってはいない）、また異邦人に信仰と真理とを教える教師となったのである。

皆様おはようございます。10月もいよいよあと10日ほどとなりました。寒くなってまいりましたが、皆様お元気にお過ごしでしたか。

黙示録も10章に入りました。全体の約半分まで進んでまいりました。

最初の3章で七つの教会に宛てて主イエス様が語られ、4章5章では天上での礼拝の姿、6章からは巻物の封印が解かれた後に七つのラッパが一つ一つ吹き鳴らされます。

6章では七つのうちの六つの封印が解かれ、7章でいったん挿話が入られて8章で七つ目の封印、そして同じく7章で4つのラッパ、8章で5番目と6番目までのラッパ、そして11章で7番目のラッパが吹かれる前に今日の10章では挿話が入られています。

七つの封印においても、七つのラッパにおいても、最後のものの前に、ひと呼吸が置かれ、いよいよ最後の時との出来事がいかに重要であることを示すように一息が入れられます。最後のラッパを前に、どのような出来事が起こったのかを10章から学んでまいりましょう。

1 わたしは、もうひとりの強い御使が、雲に包まれて、天から降りて来るのを見た。その頭に、にじをいただき、その顔は太陽のようで、その足は火の柱のようであった。

この強い御使いは、その姿かたちは黙示録1章に描かれましたイエス様にそっくりですが、御使いと書いてあるからには、そのイエス様のご栄光をこの上なくあらわす御使いであるのでしよう。

エペソ 4:11 そして彼は、ある人を使徒とし、ある人を預言者とし、ある人を伝道者とし、ある人を牧師、教師として、お立てになった。

4:12 それは、聖徒たちをととのえて奉仕のわざをさせ、キリストのからだを建てさせ、

4:13 わたしたちすべての者が、神の子を信じる信仰の一致と彼を知る知識の一致とに到達し、全き人となり、ついに、キリストの満ちみちた徳の高さにまで至るためである。

このように、キリスト者は満ち満ちた主イエスの身丈にまで成長させていただき、イエス様のお姿を証しします。

この強い死とは、雲を衣として天から降りてきます。有名な「富士の山」という歌を思い起こします。

あたまを雲の上に出し 四方の山を見おろして かみなりさまを下に聞く
富士は日本一の山
青空高くそびえたち からだに雪の着物着て かすみのすそを遠くひく
富士は日本一の山

この強い天使は雲を衣とし、虹を頭に冠のように頂き、顔は太陽のようにまぶしく輝き、足はあっという間に野火が広がり焼き尽くすように素早い燃える炎のような姿をしています。

2 彼は、開かれた小さな巻物を手に持っていた。そして、右足を海の上に、左足を地の上に踏みおろして、

3 ししがほえるように大声で叫んだ。彼が叫ぶと、七つの雷がおのおのその声を発した。

開かれた巻物。これは今、私たちに神の言葉である聖書が開かれているように、明らかにされた神様の言葉です。手にとって読むことが許されている神の言葉です。

この御使いは、高くそびえたち、陸と海とを股にかけ、足台とし、その巨大な姿がここに描かれています。

この御使いは、士師のように大声で叫ぶと、七つの雷がそれぞれにその声を発しました。

4 七つの雷が声を発した時、わたしはそれを書きとめようとした。すると、天から声があった、「七つの雷の語ったことを封印せよ。それを書きとめるな」と言うのを聞いた。

5 それから、海と地の上に立っているのをわたしが見たあの御使は、天にむけて右手を上げ、

6 天とそこにあるもの、地とそこにあるもの、海とそこにあるものを造り、世々限りなく生きておられるかたをさして誓った、「もう時がない。

開かれた巻物に対し、封印すべき言葉があります。私たちに知ることが許されていることがあれば、私たちが知る必要のないこと、知ることが許されていないことがあります。それが神様の内にあることです。時があると言うことも出来るかもしれません。

海と地の上に立っているのをわたしが見たあの御使は、天にむけて右手を上げ、天とそこにあるもの、地とそこにあるもの、海とそこにあるものを造り、世々限りなく生きておられるかたをさして誓っていました。

「もう時がない。」

海と陸、この地上世界にくまなく遣わされているそびえたつ御使いが、その大きな右の腕を差し出して誓います。長崎の平和の像や、ブラジルのリオデジャネイロのキリスト像を思い起こします。神様に誓って御使いは言いました。「もう時がない」と。

7 第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される」。

この神の奥義が成就されると「お告げになった」という言葉は、福音の良き知らせを伝えるという言葉です。

時至って神の奥義が宣べ伝えられる、ついに最後のラッパが鳴らされて、神様の奥義、秘密、神秘のベールが取り払われ、本格的な裁きもたらされるということは、キリスト者にとっては良き知らせであると書いてあります。

6:9 小羊が第五の封印を解いた時、神の言のゆえに、また、そのあかしを立てたために、殺された人々の靈魂が、祭壇の下にいるのを、わたしは見た。

6:10 彼らは大声で叫んで言った、「聖なる、まことなる主よ。いつまであなたは、さばくことをなさらず、また地に住む者に対して、わたしたちの血の報復をなさらないのですか」。

6:11 すると、彼らのひとりびとりに白い衣が与えられ、それから、「彼らと同じく殺されようとする僕仲間や兄弟たちの数が満ちるまで、もうしばらくの間、休んでいるように」と言い渡された。

こう言われていたことがついに実現して、時が来たということです。困難と迫害、殉教の中にあつたキリスト者に、とうとう神様の御業が成就する、安息の時もたらされるということです。

ローマのネロ帝のもとでは恐ろしく迫害が行われました。その後バビロンの大淫婦と出てきますが、世界は狂乱の中でありました。その雰囲気は今日にも続いています。キリスト者たちはその最中にあつても恐れることなく神の国と救いの御子イエスキリストを語り続け

ました。そのせいでヨハネを除く12弟子たちは殉教し、枯れもまたパトモス島に島流しされています。

8 すると、前に天から聞えてきた声が、またわたしに語って言った、「さあ行って、海と地との上に立っている御使の手に開かれている巻物を、受け取りなさい」。

9 そこで、わたしはその御使のもとに行って、「その小さな巻物を下さい」と言った。すると、彼は言った、「取って、それを食べてしまいなさい。あなたの腹には苦いが、口には蜜のように甘い」。

10 わたしは御使の手からその小さな巻物を受け取って食べてしまった。すると、わたしの口には蜜のように甘かったが、それを食べたら、腹が苦くなった。

その巻物を取りに行きますと、それをむさぼり食べなさいと言われます。そのようにしましたら、最初はずっとすごく甘いのですが、飲み下すとお腹の中で苦くなりました。これはどういう事でしょうか。

エゼキエル 3:1 彼はわたしに言われた。「人の子よ、あなたに与えられたものを食べなさい。この巻物を食べ、行ってイスラエルの家に語りなさい」。

3:2 そこでわたしが口を開くと、彼はわたしにその巻物を食べさせた。

3:3 そして彼はわたしに言われた、「人の子よ、わたしがあなたに与えるこの巻物を食べ、これであなたの腹を満たしなさい」。わたしがそれを食べると、それはわたしの口に甘いこと蜜のようであった。

3:4 彼はまたわたしに言われた、「人の子よ、イスラエルの家に行って、わたしの言葉を語りなさい」。

3:5 わたしはあなたを、異国語を用い、舌の重い民につかわすのではなく、イスラエルの家につかわすのである。

3:6 すなわちあなたがその言葉を知らない、異国語の舌の重い多くの民につかわすのではない。もしわたしがあなたをそのような民につかわしたら、彼らはあなたに聞いたであろう。

3:7 しかしイスラエルの家はあなたに聞くのを好まない。彼らはわたしに聞くのを好まないからである。イスラエルの家はすべて厚顔でまた強情である。

3:8 見よ、わたしはあなたの顔を彼らの顔に向かって堅くし、あなたの額を彼らの額に向かって堅くした。

3:9 わたしはあなたの額を岩よりも堅いダイヤモンドのようにした。ゆえに彼らを恐れてはならない。彼らの顔をはばかりてはならない。彼らは反逆の家である」。

3:10 また彼はわたしに言われた、「人の子よ、わたしがあなたに語るすべての言葉をあなたの心におさめ、あなたの耳に聞きなさい」。

3:11 そして捕囚の人々、あなたの民の人々の所へ行って、彼らが聞いても、彼らが拒んで

も、『主なる神はこう言われる』と彼らに言いなさい」。

3:12 時に霊がわたしをもたげた。そして主の栄光がその所からのぼった時、わたしの後に大いなる地震の響きを聞いた。

3:13 それは互に相触れる生きものの翼の音と、そのかたわらの輪の音で、大いなる地震のように響いた。

3:14 霊はわたしをもたげ、わたしを取り去ったので、わたしは心を熱くし、苦々しい思いで出て行った。主の手が強くわたしの上にあった。

3:15 そしてわたしはケバル川のほとりのテルアビブにいる捕囚の人々のもとへ行き、七日の間、驚きあきれて彼らの中に座した。

3:16 七日過ぎて後、主の言葉がわたしに臨んだ、

3:17 「人の子よ、わたしはあなたをイスラエルの家のために見守る者とした。あなたはわたしの口から言葉を聞くたびに、わたしに代って彼らを戒めなさい。

他ならぬイスラエルの家が反逆の家となっていました。

エレミヤ 15:16 わたしはみ言葉を与えられて、それを食べました。み言葉は、わたしに喜びとなり、心の楽しみとなりました。万軍の神、主よ、わたしは、あなたの名をもって／となえられている者です。

15:17 わたしは笑いさぎめく人のつどいに／すわることなく、また喜ぶことをせず、ただひとりですわっていました。あなたの手がわたしの上であり、あなたが憤りをもって／わたしを満たされたからです。

15:18 どうしてわたしの痛みは止まらず、傷は重くて、なおらないのですか。あなたはわたしにとって、水がなくて人を欺く／谷川のようになられるのですか。

15:19 それゆえ主はこう仰せられる、「もしあなたが帰ってくるならば、もとのようにして、わたしの前に立たせよう。もしあなたが、つまらないことを言うのをやめて、貴重なことを言うならば、わたしの口のようになる。彼らはあなたの所に帰ってくる。しかしあなたが彼らの所に帰るのではない。

15:20 わたしはあなたをこの民の前に、堅固な青銅の城壁にする。彼らがあなたを攻めても、あなたに勝つことはできない。わたしがあなたと共にいて、あなたを助け、あなたを救うからであると、主は言われる。

新共同訳

15:16 あなたの御言葉が見いだされたとき／わたしはそれをむさぼり食べました。あなたの御言葉は、わたしのものとなり／わたしの心は喜び躍りました。万軍の神、主よ。わたしはあなたの御名をもって／呼ばれている者です。

甘い甘い、蜜よりも甘い主の食べ物、人に活力と命を与える御言葉であったのに、開かれた神の言葉であったのに、見渡せば、イスラエルも他国の民も冷淡な態度をとっています。そのことがひどく信仰者を傷つけるのです。そしてそこに遣わされていくのです。そして自分自身の心の中にもその御言葉にどう従うのかへの葛藤と戦いがあるのです。

11 その時、「あなたは、もう一度、多くの民族、国民、国語、王たちについて、預言せねばならない」と言う声がした。

民族は、イスラエル、ユダヤの民、教会の民、神の民を指し、国民は世界の民、非ユダヤ人、神様を信じていない人を指します。言語にも民族にも文化にもかかわらず、陸と海とを股にかける、世界を支配されるお方を信じて明確に神様のメッセージを伝える役割が私たちに与えられています。時がない。私たちにとっては早く時が来てくれればと思う時もありますが、しかし神様は、77つの巻物の後に七つのラッパ、そして挿話と、裁きが来たるのを、まだあとに、まだあとにと遅らせて、悔い改めの時を待っておられるのです。

もう時がない。もう時がない。身を奮い立たせて、今一度、もう一度、誰彼に関わらず、文化や学識や経験や家柄に関わりなく、困っている人にも悲しんでいる人にも、そうでない人にも、もう一度語ろうではありませんか。

ヨナ 4:9 しかし神はヨナに言われた、「とうごまのためにあなたの怒るのはよくない」。ヨナは言った、「わたしは怒りのあまり狂い死にそうです」。

4:10 主は言われた、「あなたは勞せず、育てず、一夜に生じて、一夜に滅びたこのとうごまをさえ、惜しんでいる。

4:11 ましてわたしは十二万あまりの、右左をわきまえない人々と、あまたの家畜とのいるこの大きな町ニネベを、惜しまないでいられようか」。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。雲を衣として、頭に虹を頂き、顔は太陽のように輝き、足は迅速に燃え広がる火の柱のように輝き、神様の栄光に輝く力強い巨大な天使が陸と海に足を置き、
「時がない。再び預言せよ」と語られました。み言葉は私たちの口に蜜よりも甘く、私たちに力を与えるものですが、飲み込んだ後で、後に生

活の中、証の中で難しさを思い、苦く思い、深く御言葉に照らされて懺悔に導かれ、身体や心に痛みを感じることがあります。しかし時は少なく、困難の中にも身を奮い立たせて再び語らせていただきたく願います。子供からお年寄りまで、あらゆる年齢の方々が、この時こそ教会にて、イエス・キリストに出会うことができますようお願いいたします。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン